

2年目 小中一貫教育 ● 連載 No.13 ●

中川正博 教育長に聞く 「小中一貫教育2年目の方向性」

■問い合わせ 教育委員会 学校教育課 ☎75-122227

キーワードは『9年間の視点』と『協働』

今月号では、中川正博多久市教育長に、2年目を迎えた小中一貫教育から見てきた児童生徒の変化、教育の目的と9年間を見通した教育について語っていただきます。



中川教育長

昨年4月、できることからということではなく、市全域にわたって、中学校区3校に再編し、一貫校3校を同時にスタートさせました。学校の規模はできるだけ大きく、学級の人数は少なくするというのが少子化時代には必要だと思えます。

異年齢のつながりを通じて得るもの

少子化時代を迎え、地域で異なる年齢同士がふれあう機会が少なくなり、同年齢の横のつながりに比べて縦のつながりが希薄になりました。小中一貫教育では、小中合同の体育祭や合同授業に取り組んでおり、理科の授業では6年生と9年生が月の満ち欠けについて学ぶ中で中学生が小学生に教える場面も見られます。



▶小中合同体育祭

授業を通じて中学生にはお手本にならなければという自覚や、頼りにされることになり、小学生にも、目指す目標になるなど効果が確実に表れています。

小中一貫教育の目的と学力向上



▶学び合い授業

小中一貫教育の目的は大きく2つになります。一つは、9年間を見通した教育課程の編成、もう一つは、中学入学時に教科別担任になるなど学校環境の変化にともなう「中一ギャップ」の解消です。小中学校の教職員が情報を共有しながら、9年間を見通して発達段階に応じたカリキュラムを編成し、適正な教育活動を実践していくことで小学校の教師も、中学校の教師も、9年間は「うちの子」という強い意識で指導していきます。

その中で、中学生の「自尊心」を育成し、中一ギャップを無くして、中学校進学時の問題を置いていきます。学校が「学び舎」である以上、そこに通う子どもたちにとって学びの場を身につけさせることのできる場ではなくてはなりません。また、「あの先生と出会えてよかった」と、教師と巡り会ったことがえのない場であって欲しいと思います。



▶小学生に読み聞かせをする中学生



9年間を見通したカリキュラムづくり

2つの課題があります。1つ目は、小学校高学年から7年生への円滑なつながりをどうするか。2つ目は、それを含めての9年間のカリキュラムをどう工夫していくかということです。小中一貫校となり、4・3・2の区切りを意識したカリキュラムを充実させるため、中期の『5年生から7年生まで』にあたる3年間の工夫が接続のポイントです。小中合同でテストを分析して、6年生の苦手分野を見つけて、7年生の指導に反映、つなぎの教材を作るなど、7年生の理解が進む工夫が必要です。

家庭学習の時間確保と21世紀型能力

『21世紀型能力』とは、生き抜く力と情報活用能力を兼ね備えた能力のことです。これからの授業では、思考力や人間関係など、社会に出たときに役立つ技能重視へと変化していくと言われています。そのような状況の中で、「家庭学習をほとんどしない」児童生徒の割合が、6年生から7年生にかけてぐんと増えま



▲ICTを活用した授業の様子

す(18%から42%)。小・中の滑らかな接続のためには、家庭教育の中で家庭学習にも力を入れる必要があることを、保護者に向けて広く知らせる必要を感じております。

2年目を迎えるにあたって

多久市の義務教育9年間の新たな挑戦としての小中一貫教育の実践、より充実した内容を積み上げることができるよう市民のみならずのご理解・ご支援をよろしくお願いします。

4月の定例教育委員会のお知らせ

日時 4月10日(木) 13時30分～
場所 市役所 第2委員会室(自由に傍聴できます)
■問い合わせ 教育委員会 教育総務課 ☎75-3450

借金問題

過払い請求

広告

○サラ金からの借金を完済された方、時効前(10年)であれば、過払い請求が可能です。
○過払いの請求の場合、着手金不要(解決後、報酬金のみ)裁判までします。(印紙代等の実費は負担)

借金の相談は無料で随時受け付けます。民事・刑事の身の回りの問題もご相談ください。

営業時間 平日 9:00~18:00 土曜 9:00~12:00 日曜・祝日休
高崎繁行法律事務所

弁護士 高崎繁行(佐賀県弁護士会所属)
唐津市千代田町2109-17 くらひらビル1F

TEL 0955-70-0315

